

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
運動器の診断1							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
柔道整復学科・昼間部	3年	1期	柳澤 雅弘				
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門基礎分野	柔道整復術の適応			座学	1	10	
科目概要							
骨、関節の疾患と傷害について、その病態と治療について学びます。また骨折や脱臼に伴う神経や血管の損傷についても学びます。さらに内蔵の損傷の合併についても学びます。							
目標							
一般目標(GIO) <small>本講義を学習することで達成されるべき目標</small>	臨床において外傷の対応を正しく行えるようになるために、体幹部を中心に適正な病態を把握し、柔道整復術の適否を考える。						
到達目標(SBO) <small>一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)</small>	1. 診断を把握するため、その運動器の構造を説明できる。 2. 症状をとらえ、鑑別ができる。 3. 診断に伴い、柔道整復術の適応であるか考えることができる。						
履修に必要な予備知識や技能							
解剖学、組織学							
教科書・参考書							
医療の中の柔道整復 南江堂							
受講上の注意							
授業中分からないことはすぐに質問してください。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	90					10	100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	柔道整復術の適否を考える			P 1	筆記用具		
第2回	外出血を伴う損傷			P 35～41	筆記用具		
第3回	病的骨折および脱臼			P 43～45	筆記用具		
第4回	意識障害を伴う損傷			P 47～55	筆記用具		
第5回	脊髄症状のある損傷			P 57～63	筆記用具		
第6回	呼吸運動障害を伴う損傷			P 65～66	筆記用具		
第7回	内蔵損傷の合併が疑われる損傷			P 67～71	筆記用具		
第8回	高エネルギー外傷			P 73～75	筆記用具		
第9回	義手・義足				筆記用具		
第10回	定期試験				筆記用具		
実務経験と本講義との関連について							
メールアドレス							
yanagisawa-t@nihonisen.ac.jp							